

(様式 1 - 表)

令和6年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	52	豊田市立 五ヶ丘東小 学校	代表	上野 美樹
------	----	---------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域の教育力を活かして、豊かな心を育む教育活動の推進	分野	b	地域連携
	サブテーマ	[(その他)は分野を右欄に記入]		
学校づくりの視点（ねらい）	<p>「地域・保護者の支援」と「小規模校のよさ」を活かした学校経営を柱にして、児童の育成に努めている。</p> <p>①地域の専門家支援による学習活動の充実 ②地域の教育力を活かす夢のある体験活動の充実 ③地域の方々の参加による教育活動の交流 ④校内整備員による環境美化・教育環境の整備</p> <p>上記の視点から「夏休みおもしろ講座・ヤゴ救出作戦・PTAグリーン活動」などの取組を保護者や地域と協力し、小規模校ならではの体験活動を通して、豊かな心を育むことをめざしている。また、「クラブ・外国語活動・読み語り・図書館整備・生活科・総合的な学習」等の学習活動支援員・講師として年間を通して地域の方々の協力を得て、子どもたちの個性の伸長及び他を思いやる心の育成を図っている。こうした協力体制の中、保護者や地域の方々の教育環境への関心も高く、校内整備にかかる要望は大きい。そのために、予算配分の多くを使って補助員（校内整備員）の配置が必要となる。これによって、保護者への環境整備への負担を軽減しながら、子どもにとって安全で伸び伸びと活動できる環境づくりを進め、より一層の「地域・保護者の支援」と「小規模校のよさ」が効果的に反映される特色ある教育活動を推進していく。</p>			
活動内容・計画	<p>①地域の専門家支援による学習活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○クラブ活動…お箏・お茶・消しゴムはんこなど地域在住の方が講師。 ○外国語活動…外国在住経験の保護者が、アシスタントとして参加。 ○環境教育…学校ビオトープ、ヤゴ救出作戦等「命」の学習で、地域の専門家による指導、多様な生き物の環境整備の観点からの専門家の助言。 ○読書活動…毎月1回の読み語り、季節感あふれる掲示の工夫等ボランティアによる協力。 <p>②地域の教育力を活かす夢のある体験活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夏休みおもしろ講座…子どもも保護者も希望で参加できる6講座を開講。講師を地域の方に依頼し、お手伝いとして保護者ボランティアが参加。 <p>③校内整備員による環境美化・教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動場をはじめとした校内の定期的な整備と美しい環境の維持。 ○PTAグリーン活動…校地内の環境整備を効率よく進める事前準備として、校内整備員による計画的な作業。 			
補助員配置	校内整備員…環境美化・教育環境の整備・学校ビオトープ整備			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ○クラブへの専門家支援によって、お茶を通して日本の伝統芸能に興味をもったり、はんこ作りの技能が上達したりするとともに、児童集会等でお箏を発表する機会を通して、自信をつけていく子どもの姿が見られる。 ○外国語活動への保護者支援によって、対話の機会が増え抵抗なく学習に臨む様子がある。また、外国の文化に触れる機会を保護者支援員さんが企画し、子どもたちは楽しく学ぶ機会を得ている。 ○環境教育にかかわる生活科・総合的な学習では、専門家の支援によって、単元構想の膨らみや円滑な準備により幅広い学習や活動が展開できている。ビオトープにかかわる学習においては、ヤゴの飼育を通して生き物全般に対する視野を広げて、個の課題をもって追究する姿が現れている。 ○校内整備員を配置することで、校内の整備や運動場の安全、衛生管理において、保護者・地域の方々への協力要請のポイントが定まり、より計画的な整備が進められると考える。また、ビオトープ周辺の環境整備が年間を通じて安定し、より生き物の生態に関する学習に活かされていくと考えられる。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の学年・学校行事への意欲や取組の様子から、努力すること達成することに対する意識の変容を検証する。 ○活動終了後の児童・教師・保護者・地域の振り返りアンケートから、取組の成果と課題を把握し、評価改善を図る。 ○保護者アンケートの教育評価・自由記述から、意識・効果・課題等を把握し、改善に努める。 ○活動の様子を学校ホームページで発信し、その閲覧状況を把握する。 			

(様式 1 - 裏)

令和6年度 特色ある学校づくり推進事業 予算書

総額 (補助員B + 事業費Cの合計)	867,200	円
予算上限の目安	867,200	円

◆補助員配置予算書

希望補助員番号	職 種	週時間	週の数/年	年間時間	予算単価	報酬	年間金額	勤務目安
12	校内整備員	8	32	256	1,160	1,060	296,960	週2日
13	校内整備員	12	32	384	1,160	1,060	445,440	週3日
補助員合計 (B)							742,400	円

◆事業予算書

費 目	金 額	摘 要
報償費	120,000	おもしろ講座地域講師 3,000円× 10人× 1回 = 30,000円 読み聞かせ支援員 3,000円× 5人× 1回 = 15,000円 クラブ講師 3,000円× 3人× 2回 = 18,000円 英語支援員 3,000円× 5人× 2回 = 30,000円 総合学習地域支援員 3,000円× 1人× 3回 = 9,000円 ビオトープづくり講師 3,000円× 4人× 1回 = 12,000円 標本づくり講師 3,000円× 1人× 2回 = 6,000円
消耗品	4,800	箏の絃代 (箏クラブ) 2,800円 スタンプ台 (消しゴムはんこクラブ) 2,000円
事業費合計 (C)	124,800	円

補助員 (B)	742,400	円
事業費 (C)	124,800	円
総額 (B + C)	867,200	円